

大腿骨近位部骨折に対する手術を受けられる方へ

月日 (日時)	/ ~ /	/		/	/ ~ /	/ ~ /
経過	入院日～術前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目～5日目	手術後6日目～退院まで
	・安心して手術に臨めるように、手術の目的・内容を理解しましょう。 ・痛みが強い場合はお知らせください。	・安心して手術に臨めるように、手術の準備をしましょう。 ・手術後、痛みが強い場合はお知らせください。 ・手術後、吐き気・手術した足の違和感など苦痛な症状がある場合はお知らせください。		・痛みや苦痛な症状がある場合はお知らせください。 ・血栓予防のために、足首や足の指をしっかりと動かしましょう。	・痛みや苦痛な症状がある場合はお知らせください。 ・リハビリを行いましょう。 ・転倒に注意して動きましょう。 ・血栓予防のために、足首や足の指をしっかりと動かしましょう。	・退院後の生活をイメージしながらリハビリを行いましょう。 ・転倒に注意して動きましょう。 ・退院後の生活上の注意点について理解しましょう。
点滴	☐ 点滴が始まります。	☐ 手術室にて点滴が始まります。 ☐ 午前中に病棟で点滴を始めます。	・手術後数日は点滴が続きます。 ・抗生物質の点滴を行います。	・食事がしっかり食べられるようになるまで、点滴投与が続きます。 ・抗生物質の点滴を行います。		
薬	・現在内服している薬を確認します。 ・血をかたまりにくくする薬がないか確認します。 ・内服継続の有無については、医師または看護師から説明します。 ・必要時、痛み止めを使用します。	☐ 現在内服中の薬は中止となります。 ☐ 医師の指示にて、()時に()のを内服します。		・普段内服していた薬が再開となる予定です。看護師が説明いたします。		
検査	・必要に応じて検査が入ります。 ・麻酔科、歯科口腔外科の診察があります。		・必要に応じて検査が入ることがあります。事前に説明します。	・必要に応じて検査が入ることがあります。事前に説明します。		
処置	・手術前日までに排便がない場合、夕食後に浣腸を行う場合があります。担当看護師にご相談ください。 ・医師が手術する側の足または手に印をつけます。	・手術着に着替えて、弾性ストッキングを手術しない方の足のみはきます。 下着は着用したまま行き手術室で脱ぐか、病室で脱いでから行くか選択できます。	・足の血栓予防のためにフットポンプ(ふくらはぎのマッサージ器)をつけます。 ・酸素吸入を翌朝まで行います。 ・輸血を行う場合があります。		・適宜、医師が創のチェックをします。	
活動 安静度	☐ 制限はありません。痛みの範囲内で動きましょう。 ☐ ベッド上で安静にしています。 ・血栓の予防のために、足首や足の指をしっかりと動かしましょう。	・車椅子またはベッドで手術室に行きます。 ☐ 制限はありません。痛みの範囲内で動きましょう。 ☐ ベッド上で安静にしています ・血栓の予防のために、足首や足の指をしっかりと動かしましょう。	・ベッド上での安静になります。 ・寝返りはできます。 ・血栓の予防のために、足首や足の指をしっかりと動かしましょう。 ☐ 患肢を固定する外転枕を使用することがあります。	・離床が可能になります。 ・看護師が車椅子の移動の方法を説明しながらお手伝いします。 ☐ 外転枕を使用することがあります。	・リハビリの状況に応じて、安静度が上がっていきます。車椅子、歩行器、杖や独歩などステップアップをしていきます。看護師と一緒に確認しながら行います。 ・術後は痛みがあるためうまく力が入らなかったり、ふらついたりすることがあります。看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。 ☐ 外転枕を使用することがあります。	
食事	・食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 ・手術前日、22時から禁食となります。 ・食べやすい形態の食事をお出しします。 ☐ 22時以降はOS-1のみ摂取可能です。OS-1 500mlを夜から朝にかけてゆっくりお飲みください。手術時間によりOS-1摂取可能時間が異なります。別紙「経口補水液(OS-1)の飲み方」で説明します。	☐ 禁食です。 ☐ ()時までOS-1のみ摂取可能です。 		・朝から食事が開始となります。 ・召し上がりやすい形態の食事を提供いたします。 		
清潔	・手術のために身体をきれいにしましょう。 看護師がお手伝いします。 	・歯みがき・洗面は行いましょう。 	・シャワー浴はできません。	・身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。着替えをお手伝いいたします。	・手術後2日目からシャワー浴が可能です。手術後初回のシャワーについては看護師が注意事項を説明します。 ・ケアを行う日以外にも温かいタオルが必要な場合は看護師にお知らせください。	
排泄	・痛みが強い場合は、尿の管が入ります。 ☐ 看護師の介助の元、トイレに行けます。 ☐ ベッドの上での排泄となります。		・手術後は尿の管が入っています。 ・手術後は安静のため、排便はベッド上となりますので、ナースコールでお知らせください。	・車椅子に乗れるようになったら尿の管を抜きます。尿の管を抜いた後は、排尿の状態を観察するため尿を測ります。 		
説明 生活指導	・入院生活について説明いたします。 ・手首にリストバンドをつけます。 ・手術の一連の流れについて説明します。 ・医師から手術について説明があります。 ・手術に関する同意書を確認します。 ・手術中の顔色や爪色の確認のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートはすべて落としてください。 ・入院後、薬剤師が内服薬を確認します。 ☐ 医師から『大腿骨近位部骨折地域連携診療計画書』について説明があります。	・手首にリストバンドがついていることを確認してください。 ・「手術を安全に受けていただくためにご協力ください」に沿って確認します。 ・長い髪の方は飾りのないゴムで2つにむすんでください。 ・身につけている金属類などをはずして準備をしてください。(眼鏡・コンタクトレンズ・指輪・ネックレス・ピアス・時計・義歯・かつら・湿布) ☐ 家族の方は病棟のラウンジでお待ちください。 ☐ 家族の方はお部屋でお待ちください。	・手術後は、全身状態の観察のために検温の回数が多くなります。 	・血栓予防の弾性ストッキングは医師の許可が出るまで手術後も履き続けます。 痛みやかゆみが出たり、皮膚が赤くなったときはお知らせください。洗濯は可能ですが、交換が必要な方は売店でご購入ください。	・リハビリ室でのリハビリが始まります。お一人で行けるようになるまではご案内いたします。 	・退院後の生活の注意点をパンフレットで説明いたします。
リハビリが長期が必要な方は、転院やリハビリ施設への通所などについて、入院直後から医師・看護師・退院調整のスタッフと相談・検討していきます。						

リハビリが長期必要な方は、転院やリハビリ施設への通所などについて、入院直後から医師・看護師・退院調整のスタッフと相談・検討していきます。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
※入院期間については現時点で予測される期間です。